

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）

(実施期間：令和元～令和6年度)

実施機関：奈良女子大学（総括責任者：今岡 春樹）

共同実施機関：奈良工業高等専門学校、武庫川女子大学、株式会社プロアシスト、
帝人フロンティア株式会社、佐藤薬品工業株式会社

取組の概要

代表機関は、女性の研究環境を整備し、理系女性教員比率の向上に大きな実績を上げてきた。その実績を基盤とし、他の1高専1大学及び3企業と連携して、以下の取組を推進する。

1) 研究環境整備

- 附属病院をもたない機関における「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築
- ライフイベントからの復帰支援
- 女性管理職支援制度の構築

2) 女性研究者の研究力向上への支援

- 若手研究者の裾野拡大、異分野交流・共同研究支援
- 企業研究者・技術者のキャリアアップ支援
- アクションプランにもとづく女性研究者の採用、養成加速

3) 上位職・管理職女性研究者の養成

- 代表・共同実施機関組織全体への行動計画・取組の周知徹底、管理職対象のFD研修
- 中堅および若手女性研究者の昇進加速
- 女性管理職養成プログラムの開発

4) ダイバーシティ研究環境実現方策の地域への普及

- 自治体、高等教育機関、地域産業界との連携
- 取組実施内容・成果のノウハウの公開

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
A	a	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

関西圏の2つの女子大学、1つの工業高等専門学校、3つの企業が連携し、女性研究者・技術者の活躍促進を目指した研究環境整備の一環として、既存の「訪問型」子育て支援システム（ならっこネット）を活用した「訪問型」病児・病後児保育システムの基盤を整備したことは評価できる。既に当該システムの試験運用を開始しており、今後の本格運用、他機関への波及効果が期待できる。また、女性研究者・技術者の採用、上位職への登用に積極的に取り組み、連携機関の大半で女性研究者採用比率が50%以上に上昇したことは評価できる。さらに、関西圏の女子大学及び奈良県内企業等21機関が参画する「関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネット

ワーク」を構築し、意識啓発や共同研究を進めており、産学共同研究における女性研究者・技術者の活躍促進が期待できる。今後は、6機関、さらにはネットワークに参画する21機関の連携を更に深め、実質的な成果を挙げることを期待する。

- **目標達成度**：6連携機関全体としては概ね目標を達成しており評価できる。代表機関においては、自然科学系分野の女性研究者が減少傾向にあり、実効性の高い増加策の実施を期待する。
- **取組**：奈良県内の医師会、看護師団体、自治体等と協働し、附属病院を有しない機関における「訪問型」病児・病後児保育システムの構築に取り組み、既に試験運用を開始したことは評価できる。また、女性管理職に研究支援者を配置する取組、取組の改善を図るための外部評価委員会の設置と評価結果の効率的な活用は評価できる。
- **取組の成果**：連携機関の大半で女性研究者採用比率が50%以上に上昇したことは評価できる。異分野交流支援、「共同研究スタートアップ支援経費」付与、研究力向上セミナー等の開催といった研究力向上のための取組が、女性研究者の発表論文数や科研費獲得件数の増加に繋がったことは評価できる。今後は、取組の成果の定量的な検証を行うことを期待する。
- **実施体制**：「連携機関長会議」、「実務者会議」を開設し、連携機関間で密接に情報共有ができる体制を構築したことは評価できる。今後は、地域への高い波及効果を目指し、6機関の連携の更なる実質化、「関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク」の活動内容の明確化を図ることを期待する。
- **今後の進め方**：補助期間終了後も代表機関を中心とした連携体制を維持し、自主経費により取組を継続、発展させる計画であり評価できる。代表機関のリーダーシップの下、「訪問型」病児・病後児保育システムを本格稼働させ、広く全国の機関へ波及効果を及ぼすことを期待する。